

住友ゴムグループは、タイヤ事業、スポーツ事業、産業品他事業の三つの事業を営んでいます。タイヤ事業では、国内の低燃費タイヤ市場で高い支持を獲得しているほか、アジアを中心にグローバル展開を進めています。スポーツ事業では、優れた性能を誇るゴルフ用品やテニス用品を開発し、複数のブランドを地域や商品に応じて展開しています。産業品他事業では、成長が期待される医療用ゴム栓や制震ダンパーの拡販を図っています。

事業別売上高構成比

タイヤ事業

87%



スポーツ事業

9%



産業品他事業

4%



沿革 1909

英国ダンロップ社の工場を誘致、日本初の近代的ゴム工場として創業。自転車用タイヤ、人力車タイヤ(ソリッド)の生産開始

1913

自動車用タイヤの生産開始。国産第1号タイヤ誕生

1954

日本初のチューブレスタイヤを開発

1963

住友の経営となる。「住友ゴム工業株式会社」に社名変更

1966

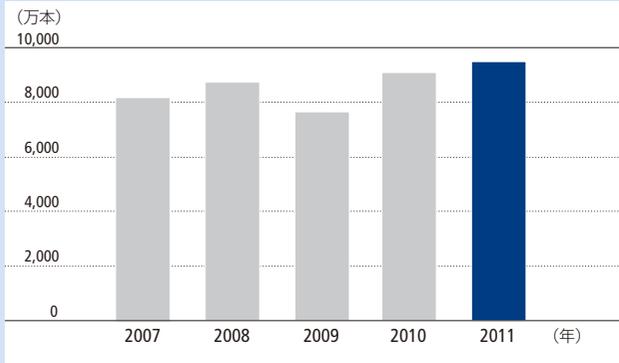
日本初のラジアルタイヤ「SP3」の生産開始

1984

英独仏の6工場およびタイヤ技術中央研究所を買収

## タイヤ販売本数

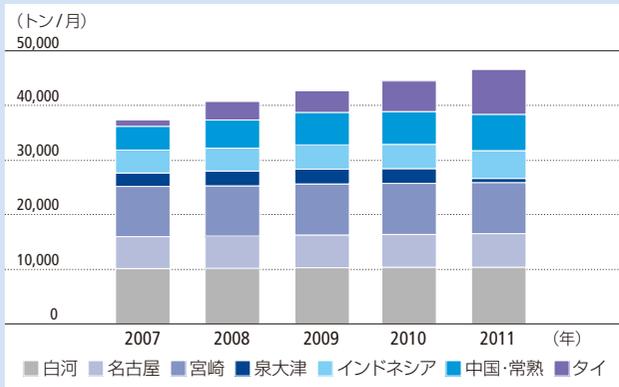
# 9,488万本



2011年のタイヤ販売本数は、東日本大震災の影響により国内新車用タイヤが前年に比べ減少したものの、国内市販・海外新車・海外市販用タイヤは着実に伸び、合計で前年に比べて401万本増加しました。

## タイヤ生産能力

# 46,550トン/月

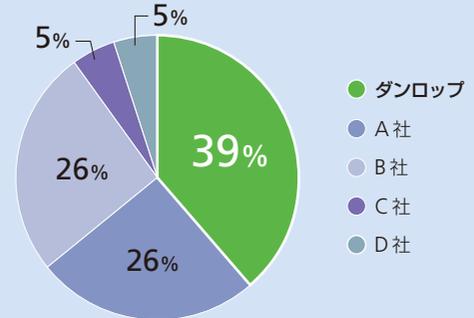


タイヤ事業では、成長市場での供給能力の向上とコスト競争力の向上を図るべく、グローバル最適生産体制の構築を進めています。2011年の生産能力における海外比率は43%となりました。

## 低燃費タイヤ国内販売本数シェア

# No.1

(株)日本能率協会総合研究所が調査した全国タイヤ量販店上位2社における2011年低燃費タイヤ\*の販売本数のメーカー別構成比で、ダンロップは39%を獲得し、2年連続第1位となりました。

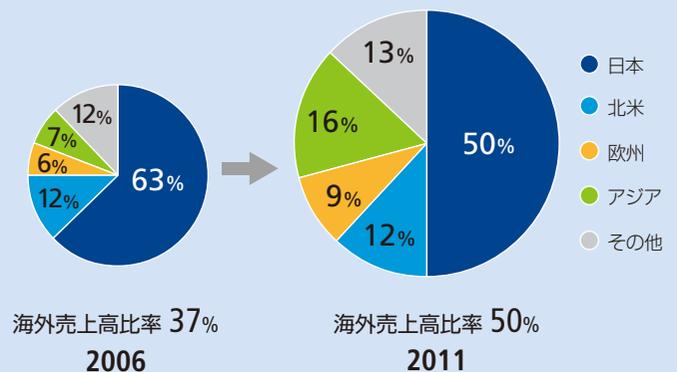


\*一般社団法人日本自動車タイヤ協会 (JATMA) が定めた、転がり抵抗性能とウエットグリップ性能の基準を満たすタイヤ

## 海外売上高比率

# 50%

タイヤ事業ではアジアを中心にグローバル市場での販売を着実に伸ばしているほか、スポーツ事業でも北米や欧州、アジアで拡販を進めています。2011年の海外売上高比率は50%に達しました。



## 1986

米ダンロップ社を買収

## 1999

The Goodyear Tire & Rubber Company(グッドイヤー社)とタイヤ事業におけるアライアンス締結

## 2003

オーツタイヤ(株)と合併。SRIスポーツ(株)(現:ダンロップスポーツ(株))、SRIハイブリッド(株)設立

## 2006

「住友ゴムグループ長期ビジョン」を発表

## 2009

創業100周年

## 2010

ダンロップファルケンタイヤ(株)、SRIハイブリッド(株)を統合